

棚POWER[®] 操作テキスト

旧棚POWER (Ver17.10 以前) のデータを新棚POWER (2011 以降) へ
移行する方法

「商品分類・商品情報・商品画像・棚割モデル情報」

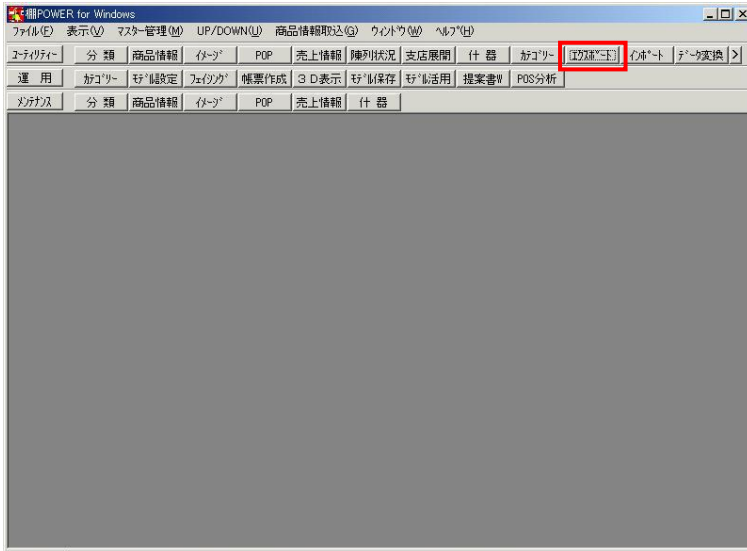


2017 年 05 月

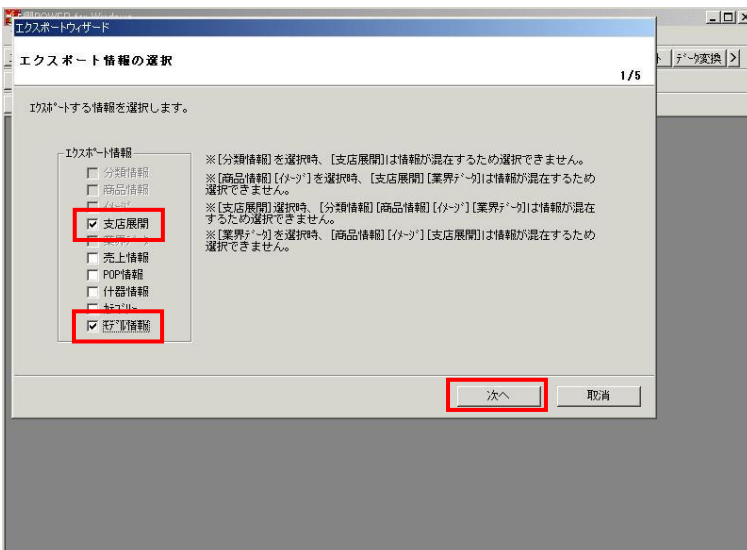
旧棚POWER (Ver17.10以前) から「支店展開 (分類情報・商品情報・イメージ)」と「モデル情報」を出力し、新棚POWER (2011 Ver1.04 以降) で取り込む方法を説明します。
 作業としては、まず、旧棚POWER Ver17.10 よりデータを出力 (エクスポート) します。
 出力後、「支店展開 (分類情報・商品情報・イメージ)」データを「商品情報コンバージョン」ツールで形式変換し、新棚POWER (2011 以降) で入力 (インポート) する流れとなります。

■エクスポート (Ver17.10より出力)

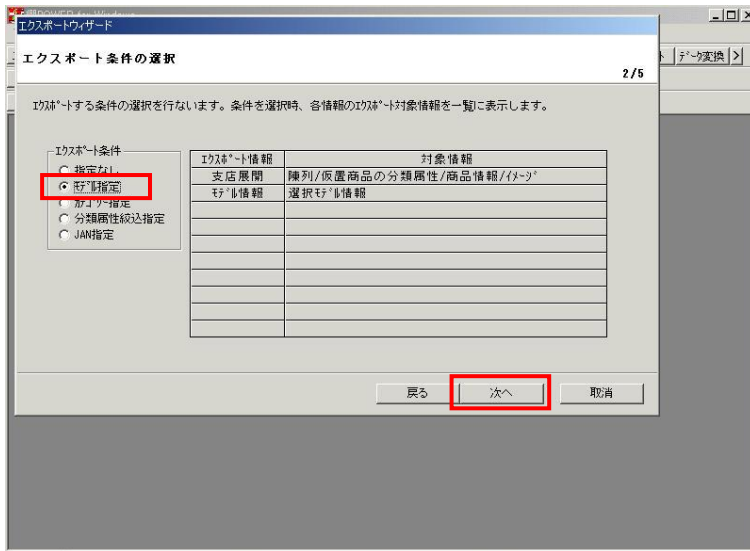
この作業は、旧棚POWER (Ver17.10以前) で行ないます。



1. 棚POWER Ver17 より、分類情報、商品情報、イメージを「支店展開」形式で、モデル情報を「MDL」形式で出力します。
2. ユーティリティ・ [エクスポート] をクリックします。



3. 「エクスポート情報の選択」より、出力するデータを選択します。
 「支店展開」「モデル情報」にチェックを付けて、「次へ」をクリックします。



4. 「エクスポート条件の選択」より、出力したいデータの絞り込み条件を選択します。

[指定なし]

全登録データを対象にします。

[モデル指定]

作成したモデルを指定して、指定したモデルに陳列している商品を対象にします。

[カテゴリー指定]

作成したカテゴリーグループ内の分類に紐づく商品を対象にします。

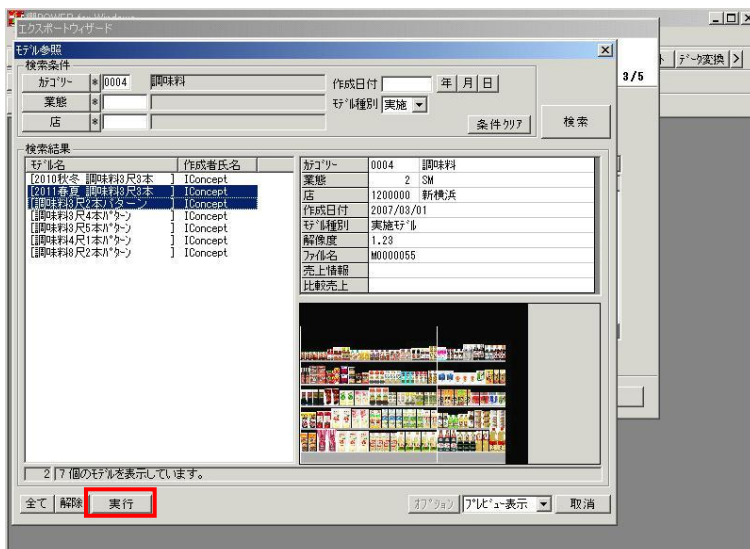
[分類属性絞込指定]

分類を指定して、これに紐づく商品を対象にします。

[JAN指定]

直接出力する商品をJANコードを入力して指定します。

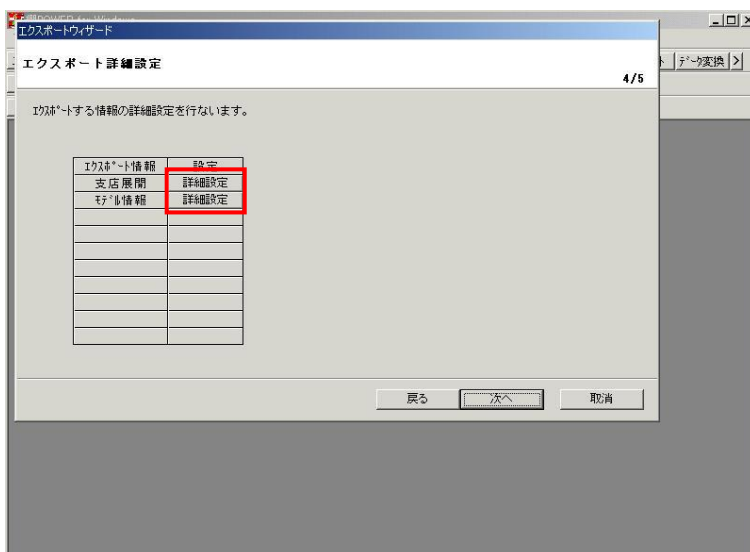
5. 今回は、「モデル指定」を選択して、選択したモデルに陳列している商品を出力対象にします。エクスポート条件選択後、「次へ」をクリックします。



6. 「モデル参照」をクリックし、出力したいモデルを選択します。

複数出力する場合はキーボードのCtrlキーを押しながらモデル上でクリックします。

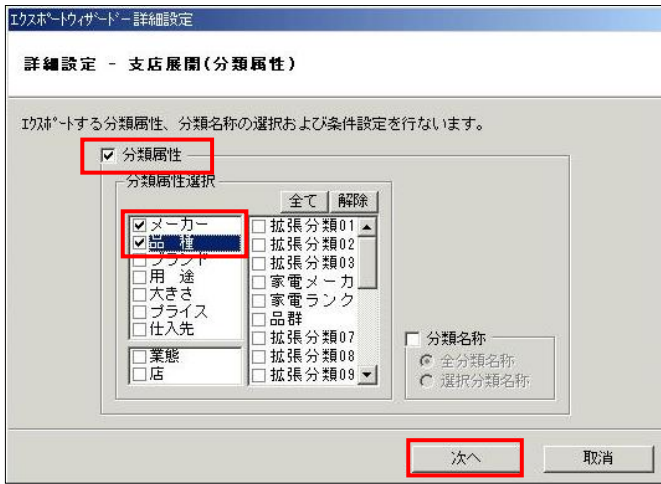
7. 選択後「実行」をクリックします。



8. 「エクスポート詳細設定」より、出力するデータの項目など細かい設定を行ないます。

各エクスポート情報の右隣「詳細設定」をクリックして設定画面を表示します。

「支店展開」横の「詳細設定」をクリックします。



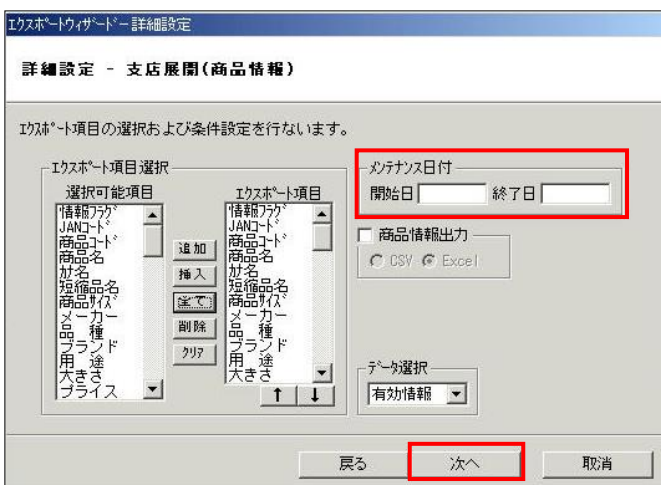
9. 支店展開・分類属性の詳細設定画面です。
出力したい分類にチェックを付けます。

分類名称・チェックは無効にします。

【参考】

お取引先など社外の方とデータをやり取りする場合は「分類属性」を無効にし、分類情報はやり取りしないようにしてください。

10. 「次へ」をクリックします。



11. 商品情報の詳細設定画面です。
出力したい項目を選択します。

【参考】

メンテナンス日付の開始日～終了日を指定すると、指定した期間に登録された商品のみを対象にします。

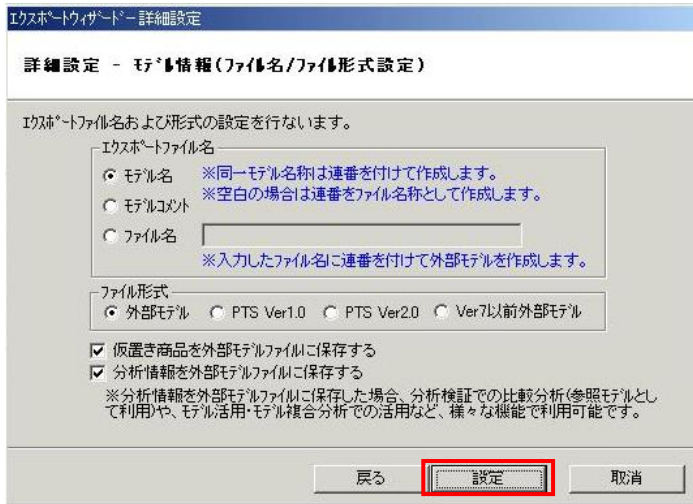
データ選択・有効情報を選択します。

12. 「次へ」をクリックします。



13. イメージの詳細設定画面です。
「イメージ」を有効にします。
面指定で「商品イメージ」ほか、出力したい面を有効にします。

14. 「設定」をクリックします。



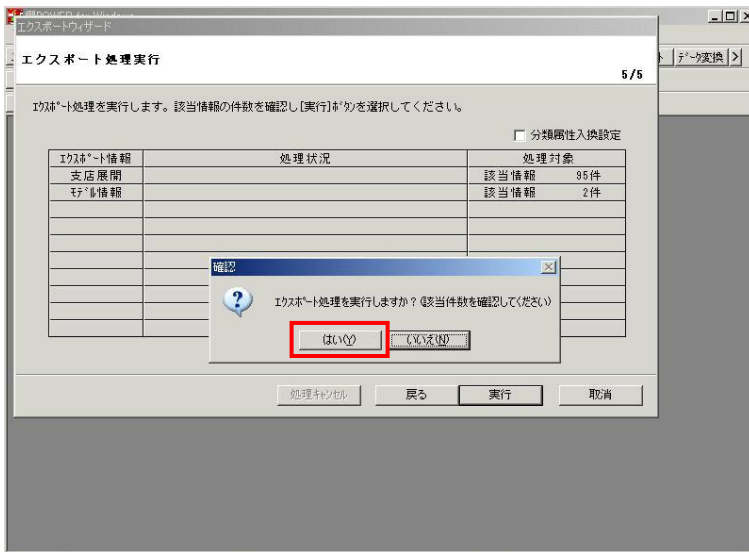
15. モデル情報の詳細設定画面です。

エキスポートファイル名・モデル名を選択します。
ファイル形式・外部モデルを選択します。
その他必要に応じて「仮置き商品を外部モデルファイルに保存する」等を設定します。

【参考】

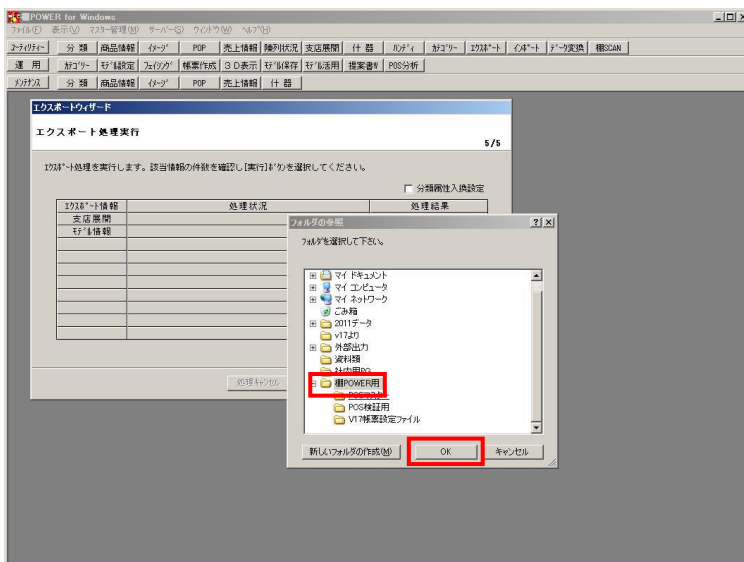
他社の棚割ソフトへ棚割モデルデータを渡す場合には、ファイル形式を「PTS Ver1.0」もしくは「PTS Ver2.0」を選択します。

16. 「設定」をクリックします。



17. エクスポートを実行します。
「実行」をクリックします。

18. 確認メッセージが表示されます。
「はい」をクリックします。



19. フォルダの参照画面で出力先を選択し、[OK] をクリックします。

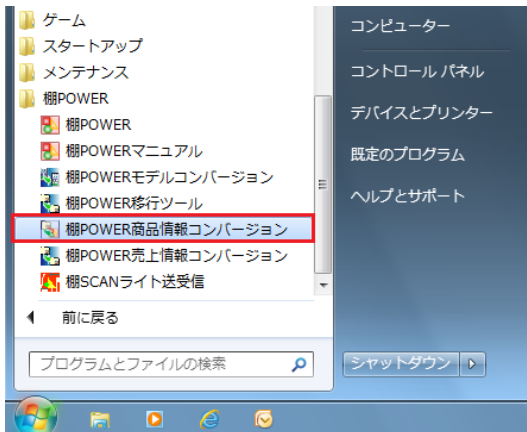
【参考】

出力するファイルが多くなる場合があるため、出力する場合は、出力する場所に「新しいフォルダの作成」で新しくフォルダを作成し、指定して出力してください。

以上で出力作業は完了です。

■商品情報コンバージョン（データ変換）

旧棚POWER（Ver17.10 以前）から出力した「支店展開（分類情報、商品情報、イメージ）」を、「商品情報コンバージョン」ツールを使って棚POWER 2011以降の形式に変換します。

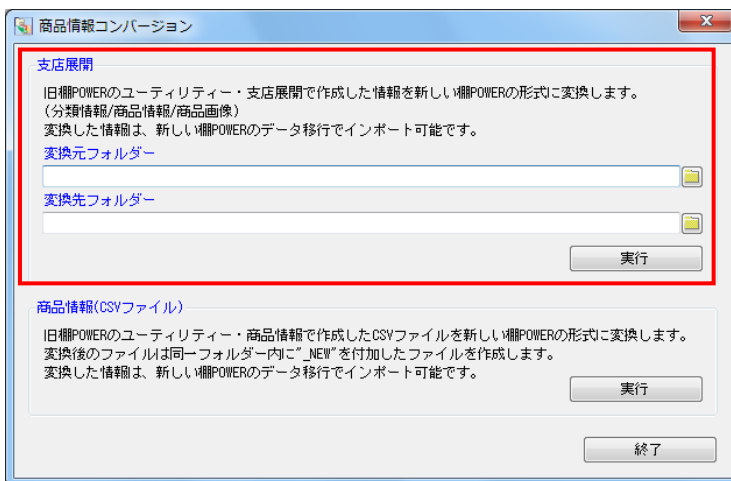


- スタート・プログラム（すべてのプログラム）内の「棚POWER」より「棚POWER商品情報コンバージョン」を起動します。

【参考】

エクスポートした棚割モデルの形式を変換するには「モデルコンバージョン」を使用します。

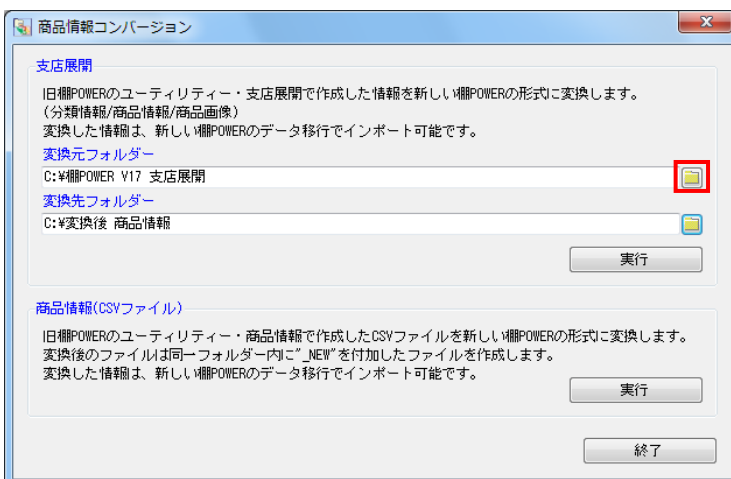
- ・旧棚POWER（Ver17.10以前）の外部モデル形式は「MDL」
- ・棚POWER 2011以降の外部モデル形式は「TPW」



- 「商品情報コンバージョン」画面が表示されます。

機能は「支店展開」と「商品情報（CSVファイル）」に分かれています。

今回は「支店展開」を出力したので、上部の「支店展開」を使用します。



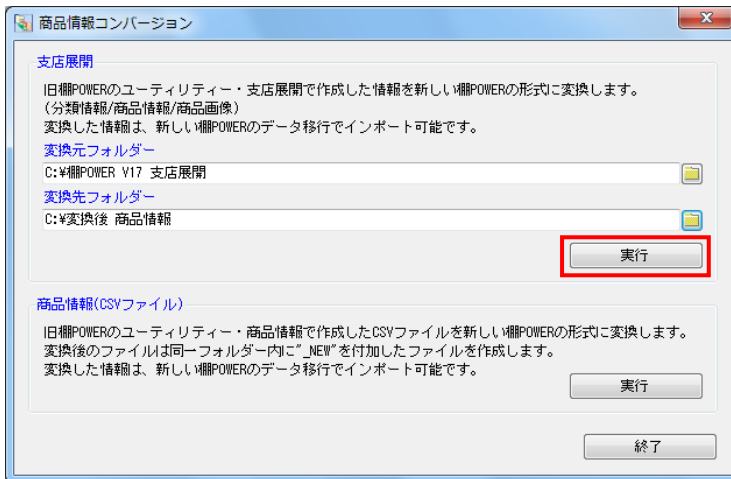
- 「変換元フォルダー」の右側のフォルダーマークをクリックします。

- 「フォルダーの参照」画面より、出力した支店展開ファイルが保存されているフォルダーを選択して、[OK] をクリックします。

- 「変換先フォルダー」の右横のフォルダーマークをクリックして、変換後のファイルを保存したいフォルダーを選択します。

【参考】

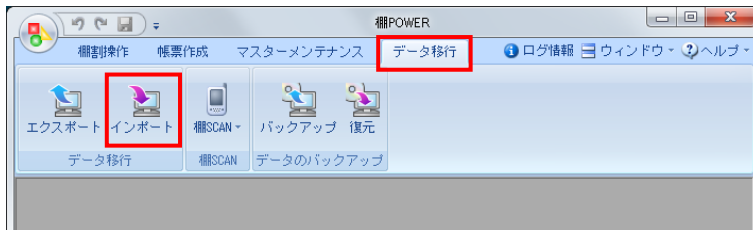
変換元、変換先フォルダーは同じフォルダーでも問題ありませんが、異なる形式のデータが同じ場所に保存されることになるため、状況に応じて別々のフォルダーにしてください。



25. [実行] をクリックします。
26. 確認メッセージが表示されます。
[はい] をクリックします。
27. 変換処理が終了するとメッセージが表示されま
す。[OK] をクリックします。

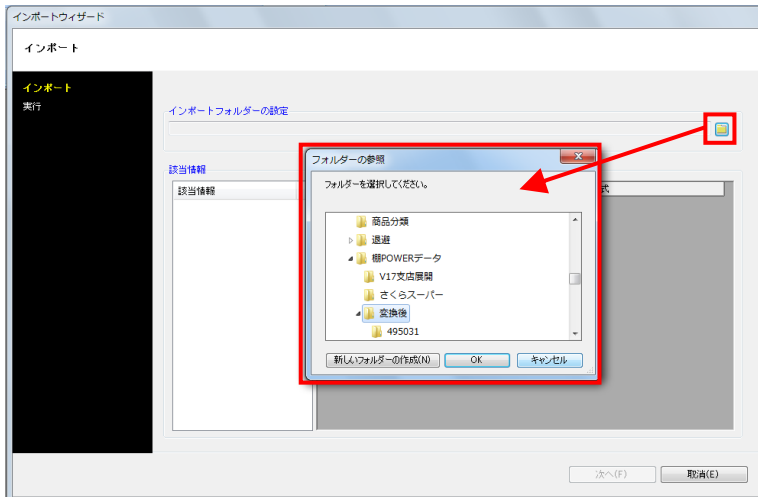
これで「支店展開（分類情報・商品情報・イメージ）」の変換は完了です。
続いて出力したデータ、変換したデータを、
2011以降の棚POWER で取込みます。

■インポート（新棚POWER 2011以降で実行）
ここからは、2011以降の棚POWERでの作業です。



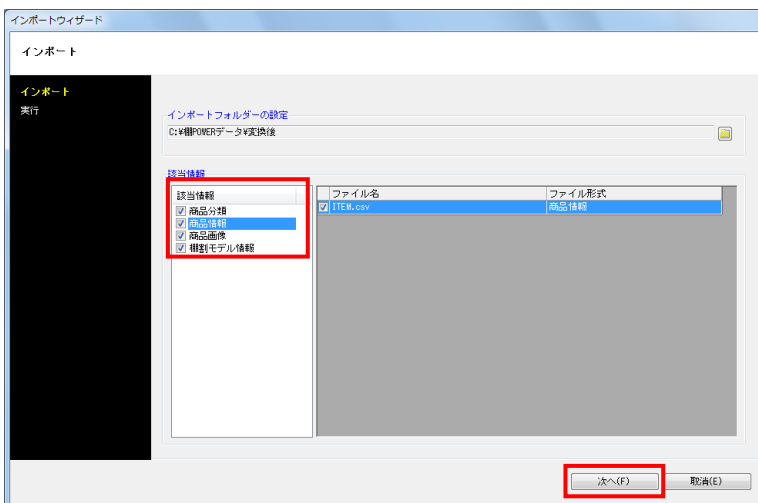
28. 2011以降の新棚POWERで商品分類情報、商品情報、商品画像、棚割モデル情報を取込みます。

[データ移行] タブ [インポート] をクリックします。



29. 「インポートフォルダの設定」より、フォルダマークをクリックし、インポートするデータを保存している場所を指定します。

30. データのあるフォルダを選択して [OK] をクリックします。



31. 該当情報欄にインポート可能なデータが表示されます。

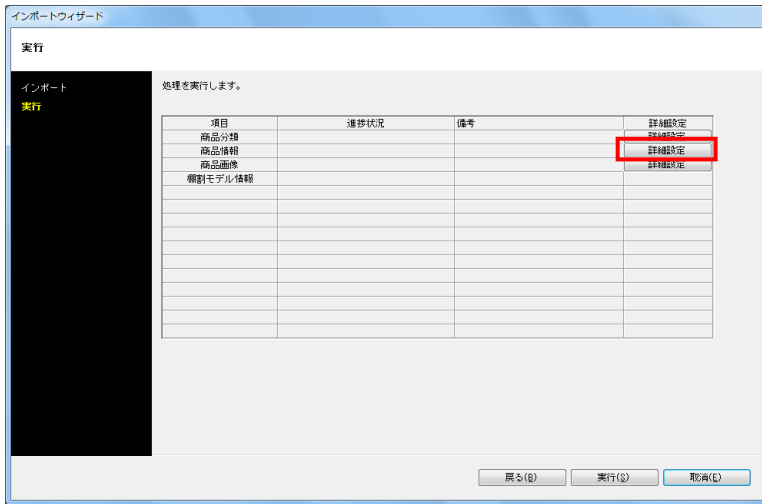
「商品分類」、「商品情報」、「商品画像」、
「棚割モデル情報」が表示されます。

※「店舗」などの棚割分類も出力している場合は上記に加えて「棚割分類」も表示されます。

【参考】

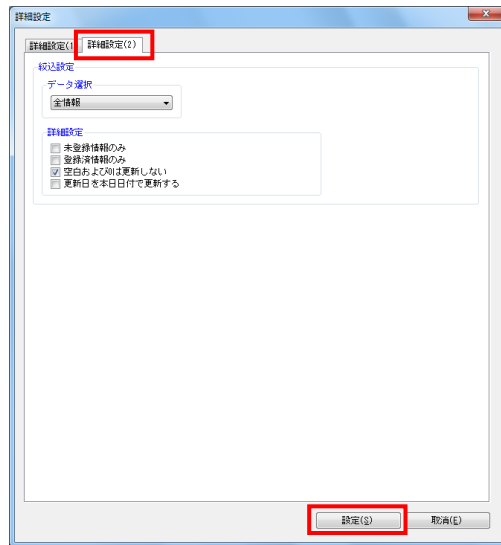
各データ上でクリックすると、右横にファイル名とファイル形式が表示されます。

32. [次へ] をクリックします。



33. 「実行」画面に変わります。

インポートの前に商品情報の設定を確認しておきます。
商品情報横の「詳細設定」をクリックします。

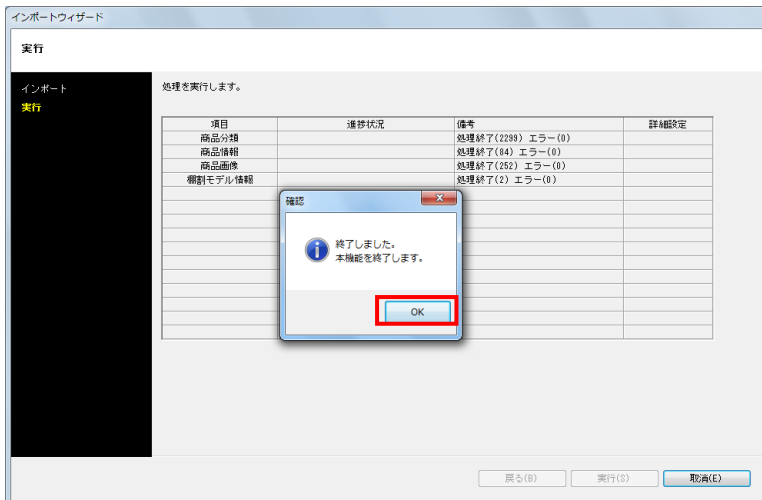


34. 詳細設定からは、インポートの際の細かい設定を行なえます。

詳細設定 1：
インポートする項目を設定できます

詳細設定 2：
インポート条件などを設定できます。
例えば「未登録情報のみ」を有効にすると、既存の情報は上書きせずに、新規商品のみをインポートします。

35. 詳細設定を変更した場合は「設定」をクリックします。



36. 「実行」をクリックします。
引き続き表示される確認メッセージでは「はい」をクリックし、インポートを開始します。

37. インポートが完了すると「終了しました。」と確認メッセージが表示されます。
「OK」をクリックして終了します。

以上でデータの移行は完了です。

- ※ 棚POWERは株式会社サイバーリンクスの登録商標です。
- ※ その他記載されている商品名、社名は一般に各社の商標および登録商標です。

スペースマネジメントシステム

棚POWER®

2017年05月改訂



発行

株式会社 **サイバーリンクス**
棚POWERサポートセンター